



【問い】82歳になる母に

ついでご相談です。最近、食事にとても時間がかかるようになり、時折むせて、せき込むことが多いようです。部分入れ歯を使っているのですが、何か他に問題があるのでしょうか。

（長崎市、50歳女性）

【答え】食事中のエピソードから、お母さまは「摂食・嚥下（えんげ）機能」が低下して、食物や液体な

どが気管に入りこむ「誤嚥」を起こしている可能性があります。誤嚥は多量に、あるいは頻回に起こると、高齢の方では肺炎を引き起こす恐れがありますので、注

意しましょう。

口の中に食物を取り込み、かみくだく「摂食」と、口から喉に届いた食物をゴクンと飲み込む「嚥下」を一連の動きとして捉えて、

合や認知症の進行、薬の副作用などさまざまな原因によって生じます。義歯が合わない、口の乾燥などの口腔（こうくう）そしゃく環境の悪化も嚥下機能に影響

病気の影響で、口から喉への送り込みが悪くなっているなどです。むせる機会が多くなると、楽しいはずの食事がつらくなり、食が進まなくなってしまう。そうした状況があれば、一度、摂食・嚥下の専門機関で診てもらいましょう。

食事でむせてせき込む

嚥下機能の低下影響

回答者

長崎大医歯薬学総合研究科口腔保健学分野助教

小 山 善 哉



接触・嚥下と呼びます。食物を飲み込みやすい固まりにするためには、よくかんで唾液と混ぜ合わせるこ

とが大切です。

摂食・嚥下障害は脳卒中などで器官にまひがある場

合、幾つか原因が考えられます。義歯に不具合が出ている▽現在の口の機能に食事形態が合わず、食べ物をよくかめていない▽全身の

姿勢の工夫、摂食・嚥下リハビリなど適切な対応法のアドバイスを受けてください。むせや喉のつかえた感じが少なくなれば、お母さまも再び食の楽しみを実感できます。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。